

## 鳴子ダムで「すだれ放流」と「鯉の滝のぼり」

すだれ放流は昭和33年ダム完成当初より、5月の大型連休に実施しています。

ダムの前面には50本の鯉のぼりを設置し、すだれに映る影が滝をのぼっているように見えることから、「鯉の滝のぼり」として地域の方や観光客に親しまれています。

本行事はH27年で48回目となり、H26年（5月2日～6日）は約5,900人が来場しました。

「すだれ放流」は、ほぼ毎年行われており、ダム上部（堤頂越流部）から水を流し、ダム施設の安全を確認するものです。幅95m、高さ約80mの巨大な滝が出現、流れ落ちる様子は、非常に迫力があります。

今年のすだれ放流は5月1日から5月6日まで実施します。

また、例年ダム下流に設置している「鯉のぼり」は、5月1日から5月6日まで、大崎市鳴子総合支所が主体となり設置します。

放流によって出来たすだれに映る鯉のぼりの影が滝を登るように見えることから、「鯉の滝のぼり」と言われ、地域の方や観光客の方からも広く親しまれています。（別紙参照）

なお、設置する「鯉のぼり」は、昨年地域の皆様のご協力により製作された「手作り鯉のぼり」50本を予定しています。

（※設置作業日は、4月30日13：00を予定。天候により時間、日にちが変わることがあります。）

また5月1日には、オープニングセレモニーを開催します。

○すだれ放流オープニングセレモニー

開催日：5月1日（金）11：00～

場所：鳴子ダム堤体左岸

実施内容：・あいさつ

実行委員長（NPO法人鬼首山学校協議会校長）

大崎市長

・鬼首神楽（鬼首神楽保存会）以上。

※洪水が予想される場合、震度4以上の地震が発生した場合、また、ダム上流の江合川の水が少なく貯水池が満杯にならない場合やすだれ放流を継続できる流入量がない場合は、「すだれ放流」を中止する場合があります。

【発表記者會】古川記者クラブ

主催：鳴子ダムすだれ放流実行委員会

（※メンバーは別紙参照）

問い合わせ先  
（すだれ放流）

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所  
所長 齋藤 信哉 専門職 工藤 一志  
〒989-6806 宮城県大崎市鳴子温泉字岩淵2-8  
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

（鯉の滝のぼり）

大崎市 鳴子総合支所 地域振興課  
主査 佐藤 孝 主査 千葉 友和  
〒989-6892 宮城県大崎市鳴子温泉字新屋敷65  
TEL 0229-82-2026 FAX 0229-82-2533

## 【別紙】

### 《鳴子ダムすだれ放流実行委員会メンバー》

大崎市、NPO法人鬼首山学校協議会、(一社)みやぎ大崎観光公社、  
鳴子温泉郷観光協会、(株)オニコウベ、大崎地域水管理協議会、東北電力(株)、  
鳴子ダム管理所

#### 【すだれ放流・鯉の滝のぼり】



H26セレモニーの状況  
(大崎市長挨拶)

※撮影時間によって、影の位置が異なります。  
写真は14～15時頃撮影

#### 【会場案内】

